

「ジオ・ミライ号 in 伊予」の開催報告

愛媛県伊予郡エミフル MASAKI で「ジオ・ミライ号」の展示を行いました。
たくさんのお子様連れの方々が、ジオ・ミライ号に興味を持って足を運んでいただきました。

1. 実施日時

9月26日（土）・27日（日） 10:00~16:00

2. 場 所

愛媛県伊予郡 エミフル MASAKI

3. 来場者数

	26日（土）	27日（日）	合 計
展示車乗車数	113人	118人	231人
ベントナイト実験	136人	142人	278人

4. 内 容

（1）展示車

- ・3Dアニメーションを上映し、理解活動を実施
- ・模型やパネルを使い対話活動の実施

（2）ベントナイト実験

- ・ベントナイトによる止水実験後、人工バリアの役目と地層処分の事業全体を説明

5. お客様の声

- ・原子力発電所の再稼働を「行う」「行わない」に関わらず、既にある高レベル放射性廃棄物を私達の世代でどうにかしなければならないと強く感じた。（主婦）
- ・仕事で学生（大学生）の書いた論文を読むことがあるが、その論文の中で「遠い将来、地上に放射能が出てくる」と記載されているのを読んだことがあったが、本当に地層処分は安全なのか分からなかった。しかし、ベントナイト実験やNUMO 職員の説明により処分方法も理解でき、遠い将来、地上に出てくるときは放射性物質も十分減衰しているということが分かった。今までは文字でしか読んだことがなかったが、このように色々体験でき（ベントナイト実験および3D映像や模型を見て）、地層処分の安全性について理解することができた。とても勉強になった。（大学職員；女性）

6. イベント状況



<3D映像の様子>



<ベントナイト実験の様子>

以上